

行政事業レビューシート (文部科学省)

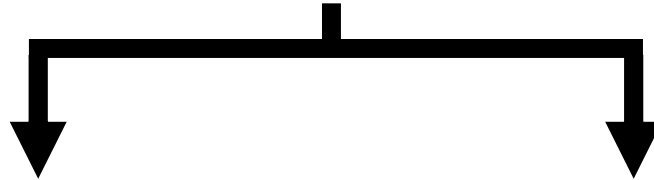
事業名	産業教育総合推進事業		担当部局庁	初等中等教育局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成15年度		担当課室	高校教育改革PT		主任視学官 袖山 禎之		
会計区分	一般会計		施策名	II-1 確かな学力の育成				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	教育振興基本計画(平成20年7月1日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	より多くの人々に産業教育に対する理解、協力を促し、新しい時代に即した高等学校における産業教育の振興・活性化を図る事業を実施する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	高等学校生徒による産業教育に関する成果等の総合的な発表の場として全国的な規模で提供する全国産業教育フェアを、都道府県教育委員会との連携・協力の下で開催する。主な内容は、以下のとおり。 ○作品展示 ○意見・体験発表 ○作品・研究発表 ○フラワーアレンジメントコンテスト ○ロボット競技大会							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	20	24	24.1	23	23	
	執行額	21	24	22.4				
	執行率(%)	105.0%	101.0%	92.9%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	産業界、教育界、国民一般に対し、専門高校等の生徒の学習意欲や魅力的な教育内容について理解・関心を高め、産業教育の振興・活性化を図る		成果実績	参加者数	118,000	100,000	86,000	60,000
			達成度	%	118.0%	125.0%	107.5%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	作品展示、作品・研究発表、意見・体験発表、競技会等の催事を実施する		活動実績(当初見込み)	件	30	27	26 (24)	- (30)
単位当たりコスト	812,000(円/1催事)		算出根拠	執行額/催事件数 20年度:21百万/30件=700千円 21年度:24百万/27件=889千円 22年度:22百万/26件=846千円 3力年の平均値=(700+889+846)/3=812千円				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	委員等旅費等	1百万円	1百万円					
	庁費	18百万円	18百万円					
	教職員研修費	4百万円	4百万円					
	計	23百万円	23百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>当事業は、全国産業教育フェアを都道府県との連携の下で開催する事業であり、専門高校の全国的な活性化を図るうえで重要な事業である。</p> <p>開催経費の示達に当たっては、開催県から提出された所要額を精査し、事業にかかる予算の適正な執行について万全を期すよう通知し、示達後は開催要綱に基づき、事業の実施状況及び経理状況について確認し、適正に執行するよう指導している。</p> <p>また、開催県に過度に依存した経費の支出構造を解消するため、事業内容の見直しを図るなどして効率的な運営に努めており、現状の予算額を維持する必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、より多くの人々に産業教育に対する理解、協力を促し、新しい時代に即した高等学校における産業教育の振興・活性化等を図るため、平成15年度から実施している事業であり、長期継続事業及び予算執行の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：当事業は全国産業教育フェアを都道府県との連携の下で開催する事業であり、専門高校の全国的な活性化を図るうえで重要であるが、「事業仕分け第一弾」の指摘、また、昨年6月の公開プロセスにおいて、イベント的な事業については、厳しい指摘がなされていることを踏まえ、事業の成果・必要性・有用性についての検証を行うことにより、事業内容を再点検し、事業を再構築するなど改善すべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>本事業の実施にあたっては、自治体施設の最大限の活用、催事内容の厳選および簡素化など事業内容の効率化を図ることで、自治体に依存した支出構造を解消し、開催経費総額の圧縮を図るよう努めている。また、平成23年2月4日付けで開催要綱を改正し、本事業が専門高校生等の学習意欲の向上や魅力的な産業教育の振興・活性化に資する教育活動を行う場であるという事業の趣旨を明確にするとともに、開催地の実情に応じ、効果的な催事内容を適切に定めるものとし、開催地の負担軽減を図りつつ効率的な運営ができるようにした。</p> <p>なお、自治体に依存した開催経費の縮減を優先的に行うことから、効果的・効率的な実施に努めるほか、印刷製本費の積算単価を見直し、概算要求に▲0.013百万円反映した。</p>			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

文部科学省
22.4百万円

職員旅費 0.4百万円 を含む

〔高等学校生徒による産業教育に関する成果等の総合的な発表の場として全国的な規模で提供する全国産業教育フェアを、都道府県教育委員会との連携・協力の下で開催する。〕



〔 委嘱 〕

〔 委嘱 〕

A. 産業教育総合推進事業
茨城県: 18.3百万円

B. 産業教育総合推進事業
鹿児島県: 3.7百万円

〔高等学校生徒による産業教育に関する成果等の総合的な発表の場として全国的な規模で提供する全国産業教育フェアの開催。〕

〔高等学校生徒による産業教育に関する成果等の総合的な発表の場として全国的な規模で提供する全国産業教育フェアの開催のための事前準備。〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.茨城県			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
借損料	会場借上げ料等	14.9			
消耗品費	手提袋等	1.9			
旅費	委員会出席旅費等	1.1			
印刷製本費	案内リーフレット	0.2			
諸謝金	審査謝金等	0.1			
計		18.2	計		0
B.鹿児島県			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品費	ロボット競技資材等	3.7			
旅費	事前調整旅費	0.1			
計		3.8	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.産業教育総合推進事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	茨城県	全国的な規模で提供する全国産業教育フェアの開催	18.2	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.産業教育総合推進事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	鹿児島県	全国的な規模で提供する全国産業教育フェアの開催のための事前準備	3.8	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					